

Ⅰ 事業の実施計画方針

ハニー・ビーは、本年8月には法人設立10周年を迎えます。「平成」から「令和」へこの10年、ハニー・ビーは会員・地域・行政・関係団体・職員各位等応援いただいている多くの方々の多大な理解と協力のもと、今日まで活動を続けて来られたと心より感謝申し上げます。次の10年を見据えて今後も役員職員が一丸となって一層の努力を重ね、ハニー・ビーらしい活動を発展させながら支援いただいている皆さんの期待に応えていく所存です。

今年度も、設立当初からのミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前』の大目標を達成するために『地域に根ざした活動の中で、障がいのあるなしに関係なく、みんなにやさしい共生社会の実現』をめざしていきます。『障がいのある親子に寄り添う支援』はもとより、親亡き後も地域で生きていくことを踏まえ、スタッフそれぞれが、『サービスさせていただく、また選んでいただけることに喜びをもってサービスにあたること。』を心がけていきたいと思います。

知的・発達障がい児・障がい者に特化した既存サービスである居宅介護、移動支援、そして北摂地区で民間初の放課後等デイサービス（当時の児童デイサービスⅡ型）を一番に開所した責務を感じ、自他共に北摂地区一番の放課後等デイサービスとして認められるよう、知的障がい、発達障がいのある子どもたちの将来の社会参加をめざした『療育支援』を『当り前の社会参加』『地域連携』へと進めていきます。

その中で、多機能型事業所（就労移行支援事業所と就労継続支援B型事業所）としてハニー・ビー ジョブの機能強化を図り、『生活の主軸になる活動』として利用者が毎日来所できる体制を整え、『障がいがあっても意識をして働けるためのスキルを身につける』ことに重点的に取り組みます。

今年度も利用者が安心して通える環境の整備と『障がいがあっても支援があれば働ける』ことを実践すべく、地域での行事には出来る限り参加し『顔の見える関係性作り』を通じ、地域住民と障がい者がお互いに信頼関係を築けるように活動していきます。

昨年、30年度に助成いただいたWAM社会福祉振興助成事業を教訓に、『障害者による買い物弱者お助け宅配事業』で得たニーズを基に、地域の中で活躍する場面を構築することにより、豊中市全体の障がいのある人たちの就労の在り方が変わるものと思っています。

豊中本町地域の皆さんにも、ハニー・ビー ジョブに関心を持ってもらえるように、今年度は「より地域の方に開かれた、親しみを感じてもらえる」誰もが一度は訪れてみたくなる事業所として、販売収益事業「ハ木屋」をもって豊中本町地区で近い存在になれるような事業展開を考えて活動します。

平成30年度障害者総合支援法改正により、「就労」や「自立生活」へ援助の軸足が移り、障がいのある人たちの暮らしも変わっていきます。『当り前の社会参加』の実現のために、心配が先に立つ障がいのある人たちに寄り添い、時には社会資源を取り入れ、親身な助言をしながら共に考え、行動しながら、『確固たる将来の社会参加』への航海図と一緒に描ける体制を取れるよう、相談支援事業にも力を注いでいきます。

就学中にしか出来ない体験を積み重ねるために個別、グループでの活動支援を展開します。就学前の子どもへの支援においても、保護者（特に母親）の気持ちや置かれている環境などを鑑みながらサポート体制を形成していきます。

また、今年度も10月に開催される「第38回スポーツフェスタ2019 大阪」について、障がい

者スポーツの主旨に賛同し、PR活動や当日の販売活動・諸団体との連携などを通じ積極的に参加していきます。

NPO 法人事業としては、今年度も7月に（今年は第10回。7月27日、28日に開催）『サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2019』を開催し、障がいのある子どもたちが、日常では興味があってもなかなか体験することの出来ない体験を、宿泊体験を通じて積み重ねていくと同時に、サポーターとして参加いただく皆さんには、障がいのある人たちと関わることによって障がいに対する概念が変わるようにと願っています。

11月には（今年は第8回。11月10日に開催）『みんなでワイワイさんあいイベント』を『障がいのあるなしに関わらず、「であい・しりあい・わかりあい」の3つのあい、顔の見える関係性作り』の大切さを感じ取ってもらえる地域連携事業のイベントとして開催します。

5月からは（今年で3回目）就学前の子育てに不安を持つ親子だけでなく、就学中の小学6年生までの親子も含めた親子療育プログラム「親子教室リトハニクラブ」を菅根事業所で開催します。

6月からは、（今年で3回目）中学生以上で18歳までの子どもたちを対象に「サポートが必要な子どもたちの料理教室」を、中央公民館の調理室などで「お弁当を作ろう」をテーマに、料理ボランティア・受付サポートボランティアと一緒に、料理を通じ身近な成功体験から自信に繋がるような機会の提供の場として開催します。今年度は、大阪大学ボランティアサークル、フロンティアにもお声かけをし、学生さんとの関わりも持ちたいと思っています。

今年は、法人設立10周年ということで、この節目の年にハニー・ビーの理念をより多くの方々に広がることを願って、障がいのある当事者が語り、また素敵な歌を届ける講演会・ミニコンサートを法人設立10周年記念事業として開催します。

また事務局では、今年度も研修の充実からの個々人のレベルアップを促し、リスクマネジメント、NPO 法人での働き方や意義の浸透を図ることで『スタッフの働きやすい環境作り』『働き続けられる環境作り』をめざし、事務の省力化、環境の整備などの体制を構築しハニー・ビーの縁の下の力持ち的存在で支えていきます。

ハニー・ビーでは、障がいのある人たちが、サポートを受けながらもそれぞれの自立、（または、自律）親亡き後も自分らしく地域で暮らすこと、また生きるということで、地域社会の中で共生していける社会の実現を考えています。

今年度も、ほんまものの就労、働き続けられるための『切れ目の無い支援』に心がけ、就学中から体験値を積み重ね、諦めないこと、そして信じることが大切との思いを伝える支援の充実に努めてまいります。

そのために『地域での連携』を構築し、障がいのある人たちを支援する側にある『障がい者が、働けるわけがない。』との思い込みを、『もしかしたら働けるかも・・・』と思ってもらえるような発想の変換につながるような支援を継続していくことが、ハニー・ビーのミッションに近づくことだと思っています。

障がいがあっても親亡き後も、周りの皆さんに支えられながらも、障がいのある方々が、自信を持って強く、明るく、逞しく、生きていくために『ハニー・ビーのサービス』を広く浸透させていきたいと思っています。また、新しい取り組みとしての福祉、教育、医療と様々な分野の専門家だけでなく、企業とも繋がり、将来を福祉サイドの見方の中に、変革する力を養いたいと思っています。障がいのあるなしに関わらず、子どもを持つ保護者同士が顔の見える関係性から、お互いに支え合える場作りも担っていきたいと思っています。

Ⅱ 事業実施に関する事項

(1) 事業区分 特定非営利活動に係る事業

事業区分 「障がい者（児）の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、企業見学会

【事業名】法人設立10周年記念講演会事業

【事業内容】本事業は、法人設立10周年を記念し、これまでご支援をいただいていた地元の方々に、ハニー・ビーの理念である「障がい者（児）の自立」について、より多くの方々に理解いただけるよう障がい者自身が語る講演会を行います。この講演会では、NHKEテレ「障害者のための情報バラエティー『バリバラ』」にレギュラー出演し、巧みな語りで人気もある玉木幸則さんを講師に招き、地域で暮らす障がい者を取り巻く状況について分かりやすく講演いただきます。この講演会では、講演に先立ち、子どもたちを対象に視覚障がいのある声楽家北村多恵さんによる楽しいミニコンサートも併せて開催します。なお本事業は、大阪府福祉基金地域福祉振興助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。

【実施場所】 とよなか男女共同参画推進センターすてっぷホール（エトレ豊中）

【実施日時】 令和元年9月8日（日）午後1時30分～午後4時

【事業の対象者】 利用者・障がい福祉事業所職員・地域住民等 150名

【収益】 235 千円（うち助成金 200 千円含む）

【費用】 235 千円

【事業名】 その他講演会、勉強会、企業見学会
各事業内で実施します。

(1) 事業区分 「療育支援事業」

ア. 【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】『第10回障がいのある子どもたちとの宿泊体験』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。サポートが必要な小学4年生から18歳までの人たちが、保護者と離れて初めての場所、初めての体験をする中で、ルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験を行います。自然の中での体験をグループで活動することでチームワークの大切さを学び、集団での交流を図ります。また、サポーター（ボランティア）が障がいのある人たちと知り合うことによって、障がい者への理解や意識改革が図られ、見かたや接し方が良い方向に変わっていくことに繋げていきます。

【実施場所】 兵庫県南あわじ市 じゃのひれリゾートなど

【実施日時】 令和元年7月27日（土）～28日（日）

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 55名予定

【収益】 1,431 千円（うち助成金 927 千円含む）

【費用】 1,451 千円

イ. 【事業名】地域連携事業

【事業内容】『第8回みんなでワイワイさんあいイベント』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。

今年度も服部西地区のふれあい緑地において、地域の皆さんと『であい・ふれあい・わかりあい＝3つのあい』で、顔の見える関係性作りに寄与できればと、地域にある小中学校で広報活動を行うとともに、様々な団体や企業にも声をかけ盛大に開催する予定です。

企画の段階・広報活動については、子どもたちにしっかりと準備段階から取り組んでもらえるようサポートを心がけます。その中で初めての場所、初めての体験をすることで、人とコミュニケーションを取るルールやマナーを守る、仲間との連携などの体験値を高めるための経験を積み重ねます。また、保護者などのボランティアスタッフの充実を図り、地域での活動に参加することで、子どもの見る目なども知り合うことによって変革していくことをめざしています。

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地 芝生広場2

【実施日時】 令和元年11月10日（日）

【事業の対象者】 地域の子ども、大人合わせて 4, 300名程度（昨年よりも増を予定）
（サポーター、構成員含む）

【収益】 953 千円（うち助成金 720 千円含む）

【費用】 1,067 千円

ウ. 【事業名】サポートが必要な子どもたちとの料理教室事業

【事業内容】『第3回サポートが必要な子どもたちとの料理教室』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。サポートが必要な子どもたちが自分自身で保護者以外の人と関わりながら「料理を作る」ことを通じて体験値を高め自信につなげることと、ボランティアとの交流を通じたコミュニティの醸成を図ることをめざしています。

【実施場所】 豊中市立中央公民館など

【実施日時】 令和年5月から11月の間 計6回開催

【事業の対象者】 サポートが必要な子どもたち（12歳以上 18 歳ぐらいまで）

【収益】 440 千円（うち助成金 377 千円含む）

【費用】 460 千円

エ. 【事業名】親子療育事業

【事業内容】 本事業は、『第3回親子教室リトハニクラブ』として独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。困り感のある子を育てる保護者の閉塞感を取り除くための「保護者支援」「親子支援」活動の推進を行い、子どもの特性を受容できない保護者に対して相談できる場や療育の場を提供、仲間づくりの場の提供を行う。親の会活動の基礎となる場を構築します。

【実施場所】 曽根事業所

【実施日時】 令和元年5月から令和元年11月まで月1回第2土曜日 計6回開催

【事業の対象者】 障がいのある（あるかもしれない）子どもとその保護者
【収益】 354 千円（うち助成金 324 千円含む）
【費用】 374 千円

（3）事業区分 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

ア. 【事業名】 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある人、子どもたちの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、利用者の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けてのご支援をさせていただきます。寄り添うことを心がけ、保護者、利用者のニーズに合わせてのサービス、将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイト的役割も提供し、サービスを実施します。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 （4）移動支援事業の項に、合算し記載

【費用】 （4）移動支援事業の項に、合算し記載

イ. 【事業名】 就労移行支援事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『社会参加は当たり前』『自立した生活が営めるよう』2年間にわたり様々な活動と体験の機会を通して、就労に必要な知識の習得やスキルアップのための訓練等を適切・効果的に行ない、『はたらく』力を身につけ、就労の準備から就職活動・職場定着までサポートします。

【実施場所】 豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル1Fなど

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 サポートを受けて将来は、あたりに働きたいと願う「知的・発達障がい、精神障がい等」のある人など。

【収益】 1,558 千円

【費用】 8,347 千円

ウ. 【事業名】 就労継続支援B型事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働ける』『就労を通して、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【実施場所】 豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル1Fなど

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 サポートを受けて将来は、当たり前働きたいと願う「知的・発達障がい、精神障がい等」のある人など。

【収益】 14,604 千円

【費用】 15,158 千円

エ. 【事業名】 生産販売活動事業（就労支援収益事業）

【事業内容】 ハニー・ビー ジョブでは、就労移行及び継続B型の利用者が、生産販売活動である「八木屋」が扱う宅配や施設店頭あるいは外部での店頭販売に係る商品の製作・仕分・袋詰め・配達・販売等を就労移行のスタッフの支援を受けながら就労の機会を提供します。

就労の機会の提供を通じ、特性に応じた知識や能力の向上を目指し、働く事の達成感や満足感を実感し、生産販売活動に従事した内容に応じた工賃の支給を行います。製品の製作や販売活動といった就労の機会の提供に止まらず、仕事上のルールやマナー・体力・集中力を養い、基本的な労働習慣を身につけられるよう支援を行います

今年度は、更に地域に愛される事業所となるように、昨年度実施した、WAM社会福祉振興助成事業を教訓に、『障害者があっても、誰かの役に立つ、役割を持つ』やりかゐを重視し、しっかりと地域で活躍する場面を作り、販売収益事業「八木屋」も含め、ハニー・ビー ジョブが豊中本町地区でもっと存在感を示せるような事業展開をします。その一環として、ハニー・ビー ジョブの事業所内に設けているコミュニケーションスペース「ジョブ カフェ」を一層活用し、地域の方々が立ち寄りやすくなるような催しを定期的に行い、より地域に根ざした事業展開を行います

【実施場所】 豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル1F及び施設外事業所など

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビー ジョブ就労移行・B型の利用者。

【収益】 5,394 千円

【費用】 6,598 千円（うち売上原価 3,257 千円含む）

(4) 事業区分 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある人、子どもたちの外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援をしていきます。保護者、利用者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイト的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市など

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】	(3) アと(4) 計	19,500 千円
【費用】	(3) アと(4) 計	16,951 千円

(5) 事業区分 児童福祉法に規定する障害児通所支援事業を経営する事業

【事業名】放課後等デイサービス事業

(マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり)

【事業内容】 主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、通所にて放課後等デイサービスの提供をします。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが、主に中学・高校の児童を対象にそれぞれの年齢や環境に応じた支援を提供していきます。

それぞれの、放課後等デイサービスでは、一人ひとりの個別支援計画に基づいた支援によって、学齢期にある児童の発達を促し、社会生活を送るために必要な力を身につけて将来の夢や希望に近づいていくことを支援していきます。

以下の目標を持って事業展開を行ないます。

- ① 人との関係を豊かにし、自信をもって生活が出来るようになること
- ② コミュニケーションの充実を図り、個々の表現をより豊かにしていくこと
- ③ 個々の能力に応じた身の自立をめざすこと
- ④ 健康な身体作りを促し、日々の生活をよりゆたかにひろげていくこと
- ⑤ 様々な体験を通じ、体験値を高めていくこと
- ⑥ 地域の中での当たり前の暮らしを実現していくこと
- ⑦ 一年を通じて、四季を感じ季節ごとの行事、イベントを楽しむこと
- ⑧ 生活や成長について、また将来について家族との相談を充実させること
- ⑨ 学校や障がい福祉サービスなど関係者、関係機関との調整を行い、子どもを中心とした支援を行なうこと
- ⑩ 火災、防災など緊急時の安全で確実な体制を確保すること
- ⑪ その他、個々の目標に応じた支援を提供すること

なお、上記の目標を達成するために次の4点を重点課題として取り組みます。

- 個々の課題に応じた個別及び集団プログラムの充実
- 保護者との交流会を通じて、親睦を図る
- 相談支援の充実、また学校等関係諸団体との連携
- 研修を充実させることで、支援スタッフのスキル及び意識の向上

マイ児童デイサービス（そね） 2019年度（令和元年度）目標

- 基本的な生きる力を育て、基本的な人との信頼関係を構築する
- 自己表現を育てると共に人の話に耳を傾けること、聞いたことを通して考える力を育てる
- 自分なりのコミュニケーションの取り方を獲得し、人との関わり方を学んでいく基本的な生活習慣を通して生活力の幅を広げる
- 身体の動作、手先の巧緻性、模倣など身体イメージを高めていく
- 音楽、クラフト、運動、食育など様々な活動を通して、自信をつけ意欲を高める支援を行なう

- 自分で行うこと（主体性）を通じて、経験の幅を広げると共に生きる力を育てる
- 年齢差のある縦割りの活動を通して、それぞれの年齢毎の役割意識や意欲を育て、相手の気持ちを感じることを学ぶ
- 自分の気持ちを自分なりに表現し、したいこと、やりたいこと、嫌なこと、頼みたいことを相手に伝えられるように支援をしていく
- 安心安全な場所で、社会性を高めて行く支援を行なう
- 絵本や本を通じて創造力や情緒の安定をしていく

2019年度（令和元年度）の年間プログラム予定表

クッキング→生活に密着した食育としました。

ダンス→運動

バレーシュレン、ボールプログラム、ヨガ、リズムなどを含めた運動としました。

月	週間プログラム（主な内容）
平成31年4月	文字・言葉：自己紹介カード 体操：手足ぴったんこ クラフト：つくってあそぼう せいかつ：手洗いチェッカーなど
令和元年5月	合同療育：春の遠足 クリーンランド社会見学 食育：季節のおやつ作り 運動：リトミック、ヨガ レクリエーション：みんなと仲よくなど
6月	クラフト：壁面作り（夏を作ろう） 体操：ダンス クラフト：七夕の準備 レクリエーションなど
7月	文字・言葉：七夕の短冊作り 運動：体操 夏祭り関係 食育 クラフト「夏祭り準備②小物作り」 ボランティア活動：イモの水撒きなど
8月	クラフト：秋の壁面制作 夏祭り週間「夏祭りの前週祭」ダンス：盆踊り ゲーム：夏休みの楽しい思い出絵日記作成など
9月	さんあいイベントに向けての舞台でのダンス 音楽：みんなで歌おう ダンス：未定 クラフト：リズムあそび 運動：みんなでおどろろ！ レクリエーション：伝承あそびなど
10月	クラフト：実りの秋 食育：お弁当づくり クラフト：秋の壁面制作など 生活課題：生活に必要なことを学ぼう 体操：身体を動かそう！
11月	ボランティア活動 文字・言葉：芸術の秋 特別課題：避難訓練 クリスマス会の準備：プレゼント作り、レクリエーション：秋を楽しもう！など
12月	クラフト：クリスマスの飾り作り クリスマスプレゼント作り ダンス：クリスマスに向けて せいかつ：年賀状作り 合同療育：クリスマス会を開催など
令和2年1月	合同療育：書き初め、初詣 せいかつ：新年の抱負&お正月遊び、絵馬、福笑いなど 運動 クラフト：節分だ！鬼のお面作りなど
2月	レクリエーション：豆まき、クッキング：バレンタインチョコ 運動：寒さに負けない体力づくり クラフト：春の壁面制作など
3月	レクリエーション：おともだちとつながろう 運動：1年総復習！！ 文字・言葉：卒業・進級の抱負 せいかつ：進級卒業お祝い会など

マイ児童デイサービスはっとり 2019年度（令和元年度）目標

前年度（平成30年度）の目標

「社会の中で生活する力を身につける支援を行う」
「将来の働く力を育て、蓄える支援を行う」
「就労意欲を高める支援を行う」という大きな目標のもと、
「挨拶ができる」「人の話を聞く」
「挨拶、自己紹介、職員へ報告・連絡・相談ができる」
「デイの活動の運営に児童も参加し、共に生きる力を育てる」
「デイのルール、決まり事が守れる」「集中力や持続力を身に付ける」

以上の目標を立てて活動しました。

2019年度（令和元年度）も、前年度の目標を活用しつつ、引き続き活動を継続していきます。

年間プログラム予定表

月	週間プログラム（主な内容）
平成31年4月	たいけん：オリエンテーション、マナー：挨拶練習、 クッキング：春のクッキング、生活：そうじの練習
令和元年5月	クッキング：お弁当づくり、クラフト：家族へのプレゼント、 お金と数字：お金の練習、防災：避難訓練、マナー：挨拶と自己紹介②
6月	クッキング：ポップコーン、苗植え：野菜の苗植え、作業：作業練習、 お金と数字：お金の理解
7月	クラフト：七夕かざり、マナー：あいさつ・自己紹介、作業：作業練習 お金：お金の練習、クッキング&買い物：ソーメン
8月	クッキング：ソーメン、実習：実習、クッキング：わらびもち、 お金：お金の練習
9月	クラフト：敬老の日プレゼント 防災：避難訓練、 お金：お金の練習 マナー：挨拶練習
10月	作業：作業練習、 お金：お金の練習、運動：身体を動かす クラフト：ハロウィン カゴ作り マナー：挨拶練習
11月	マナー：挨拶練習 お金と数字：お金の理解 作業：作業練習 クラフト：美術の秋 マナー：挨拶練習
12月	クラフト：クリスマスの準備 プレゼント、飾り付け作り 年賀状作り 運動：身体を動かす
令和2年 1月	クラフト：かるたづくり マナー：挨拶練習 お金と数字：お金の理解 クッキング：巻き寿司に挑戦
2月	せいかつ：掃除、作業練習 クッキング：バレンタインクッキング マナー：挨拶練習(履歴書の書き方)、数字の理解：お金の練習
3月	クラフト：思い出のアルバム作り マナー：あいさつ練習(自己紹介) レクリエーション：お別れ会（お楽しみ会） クッキング：3月のクッキング

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 23,151 千円（そね） 30,068 千円（はっとり） 計 53,219 千円

【費用】 21,552 千円（そね） 19,440 千円（はっとり） 計 40,992 千円

- (6) 事業区分 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業
- (7) 事業区分 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業
- (8) 事業区分 児童福祉法に規定する障害児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 これらの事業では、主に知的・発達障がいのある人、子どもたちの将来に関わる相談、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談しながら立てていきます。

利用者や家族と共に相談をしながら、「どのような暮らしがしたいのか」「そのためにはどのようなサービスが必要か」など、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から、一人ひとりにあった計画を作成します。

障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え、わたし達に何が出来るのか、自問自答しながら、社会資源の活用も含めて支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市、吹田市、池田市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・家族等

【収益】 10,081 千円

【費用】 4,347 千円

- (9) 事業区分 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業名】 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業内容】 障がいのある人たちに出来る仕事を探求し、毎日コンスタントに障がい者が6時間以上働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他管理業務などを推進します。障がいのある人たちは働けないのではなく、『体験値が少ない』また『どうせ、出来ない』との偏見から働くことを諦めてしまうことが多い一方、実際に支援を受けながらも働くことが出来ることへの理解を促し、少しずつでも意識が変わることも多く経験してきました。そのような障がいのある方々の働き方やまた働き続ける環境を広く知ってもらうという意味においても、障がい者就労・職域開発事業の推進の役割をしっかりと果たしていきます。

放課後等デイサービス（マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり）においては、就労支援の基礎づくりのために「将来、就労したい！」と思えるように諦めずに信じて寄り添える、指導員を引き続き養成していきます。

【実施場所】 各事業において実施

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がい者の雇用者及びサポートを担当する職員

【事業名】 自立と就労参加を実現するための啓発・情報発信事業

【事業内容】 豊中市をはじめ周辺市を含め『障がい者の自立・就労の意義』を主旨とし普及するためのネットワークを構築するべく、啓発・広報活動を実施します。

一新されたハニー・ビーのホームページを活用し、より多くの皆さんにアクセスしてもらえるような、ページ構成にし、戦略的に情報発信力の向上をめざします。

ハニー・ビー通信（不特定多数）やマイ児童デイサービス ニュースレター（利用者限定）、ハニー・ビー ジョブ通信（利用者限定）を、広報媒体として活動報告

や情報を盛り込み、月1回の割合で発行していきます。会員募集の際に、ハニー・ビーの案内を郵送するだけでなく、ハニー・ビー通信に関しては、毎号定期的にメールで配信することで、より多くの人たちに活動への理解を広げ、一層の興味に持っていただけるよう繋げていきます。

また、保護者や支援者に情報を発信することで話題が広がり『寄り添う支援』『地域連携』、更には『将来、障がい者の自立・就労の意義』を掲げて、草の根的な市民レベルの啓発・広報活動も実施していきます。

【実施場所】 豊中市内

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民、障がいのある人たちの支援者又は支援者になりえる市民団体など